

第36回 全国キリスト教学校人権教育セミナー

「好き/嫌い」だけで決めていいの!?

～排外と分断の時代に尊厳を～

2026年8月11日(火・祝)～12日(水)

カトリック麴町聖イグナチオ教会 信徒会館



主催

第36回全国キリスト教学校人権教育セミナー実行委員会

(メールアドレス zenkirisemi@gmail.com)

全国キリスト教学校人権教育研究協議会

(ホームページ <http://zenkiri.junyx.net>)

【開催の目的】

- ① キリスト教学校での人権教育のあり方を探求し、その課題を自覚し、理解を深めると共に、それぞれの現場での実践について考える。また情報交換し、励まし合う。
- ② キリスト教学校および公私立学校で人権教育に関心を持っている教職員、また人権教育に関心を寄せるキリスト者・市民・保護者・学生の出会いの場をもつ。
- ③ 人権教育の実践に学び合い、分かち合い、建設的な関係を築く。

「『好き/嫌い』だけで決めていいの!? ～排外と分断の時代に尊厳を～」

■開催趣旨

今学校は、子どもの数の減少に加え、教員不足による学校間競争を抱え、現場の教職員たちは子どもとの関わりを大切にしつつ、両方の募集に心を砕く日々を送っています。その中で、コスパやタイパを口にすることがあるかもしれません。決してそれが重要な指標になりはしないとわかっているにもかかわらず、そう冷めた気持ちになる時さえあるのです。でも大事なことは、学校は「いのちの尊厳・世界の平和・人権」の確立を堂々と目標にして歩む場であり続けたいということです。「全キリ人権教育セミナー」はその歩みを支え合う仲間に出会えます。共に祈りつつ、希望と勇気を与え合うセミナーにしていきましょう。

■日程：2026年8月11日（火・祝）12時～12日（水）17時

■会場：カトリック麹町聖イグナチオ教会信徒会館

東京都千代田区麹町6丁目5-1 最寄り駅 四ツ谷駅（JR・地下鉄）

●参加費：事前振込をお願いします。

- ・出張参加 14000円
- ・自費参加 12000円
- ・学生5000円
- ・オンライン参加 7000円

オンライン参加は11日にヨセフホールで行われるプログラムについてのみ可能です。

*参加費にはセミナー諸費用、資料代、ニュース購読・協議会運営協力費が含まれます。

●申込み・振込締切：7月15日（水）までに、申込み専用サイトよりお申し込みください。

*8月13日（木）にオプションとしてフィールドワークを実施いたします。詳細はこの要項の7pにあります。参加希望の方はセミナー申し込み用フォームの項目からお願いします。費用**2000円**を現地でお支払いください。

●申込み専用サイト：<https://forms.gle/Tz2Bdvjop8VmKUmo9>

*当協議会ホームページ【<http://zenkiri.junyx.net>】からもアクセスできます（「全キリ」で検索）。また、右のQRコードからのアクセスもできます。

*パソコンやスマホを使用しない方は、電話 072-875-8470（日本基督教団部落解放センター）にご相談ください。



●参加費振込先：【 郵便振替口座 00180-3-731838

加入者名 人権教育セミナー実行委員会 】

* 「2026 セミナー参加費」と記入してください。

●宿泊：各自でご予約ください。近年ホテルが取りにくくなっておりますので、早めに予約されることをお勧めします。

●お問い合わせ：メールでお願いします。【 zenkirisemi@gmail.com 】

■主催：第36回全国キリスト教学校人権教育セミナー実行委員会
全国キリスト教学校人権教育研究協議会

■後援 日本カトリック学校連合会、日本カトリック学校教育委員会、全国在日外国人教育研究協議会、キリスト教学校教育同盟、NCC 教育部

■賛同：外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会／日本カトリックいのち・平和・人権委員会／在日韓国人問題研究所／在日大韓基督教会社会委員会／マイノリティ宣教センター／日本キリスト教協議会(NCC)在日外国人の人権委員会／日本基督教団在日韓国朝鮮人連帯特設委員会／日本キリスト教協議会(NCC)部落差別問題委員会／日本基督教団部落解放センター／日本キリスト教婦人矯風会／日本聖公会人権問題担当者／日本バプテスト同盟／日本バプテスト連盟日韓・在日連帯特別委員会／日本バプテスト連盟部落問題特別委員会／日本YWCA／部落問題に取り組むキリスト教連帯会議／神戸学生青年センター／カトリック大阪高松大司教区シナピス／カトリック大阪高松教会管区部落差別人権活動センター／「日本基督教団神奈川教区性差別問題特別委員会」／「子どもと教科書全国ネット21」／「平和を実現するキリスト者ネット」(交渉中)

(6月1日現在)

第36回全国キリスト教学校人権教育セミナー 日程

8月11日（火・祝） カトリック麹町聖イグナチオ教会 信徒会館		
（開会礼拝・講演1・聖書研究・総会）		
*印はオンライン視聴可能		
11:30 受付開始 12:00~ 12:30~13:00 13:15 ~15:00 15:20 ~16:20 16:30 ~17:30 18:00 ~20:00	※昼食は済ませておいでください。 開会礼拝 * オリエンテーション 基調報告 * 講演1 中野晃一さん * 若い人たちに届けられるか 愛と尊厳と平和のメッセージ 聖書研究 安田真由子さん * 協議会総会（全員参加） * （休憩・「南国亭」へ移動） 全国交流会（全員参加）	
8月12日（水） カトリック麹町聖イグナチオ教会 信徒会館		
（分科会・講演2・派遣礼拝） ただし⑤分科会は現地から帰って参加		
9:45	開場	
10:00~ 10:15 10:20~	朝の祈り 分科会 前半 ①人権問題としてのハンセン病問題 —教育が問われるもの— ②分断と憎しみをのりこえる教室 ③差別しているのは「差別者」だけじゃない ~無知・無関心とインターセクショナリティに 焦点をあてて ④生き延びるためのラップ・ワークショップ	⑤歩く分科会 『部落差別をなくす』 部落差別解消学習 10:00 集合 「お肉の情報館」（品川）見学後、「産業・教育資料室きねがわ」（墨田区）へは電車で移動 15:00までに帰着
	昼休憩（お弁当を配ります） 各分科会で時間設定をお願いします。	
~14:30	分科会 後半	
15:00~ 16:30	講演2 石井光太さん なぜ子どもたちは傷つけ合うのか	
16:30~	派遣礼拝	
17:00~	終了・解散・拡大実行委員会	

プログラム内容

8月11日（火・祝）

■ 開会礼拝

高橋睦子さん（幼きイエス会〈ニコラ・バレ〉会員）

■ 講演1

講演題「若い人たちに届けられるか 愛と尊厳と平和のメッセージ」

講師：中野晃一さん

上智大学国際教養学部教授（政治学）

「立憲デモクラシーの会」や「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」などの呼びかけ人を務めた。現在も国会前の反戦平和・護憲行動を主催する若者たちと連携している。

排外主義、貧富や差別による分断、そして不満のはけ口を「異質な他者」に求めるようなヘイトと戦争が権力者たちによってもてあそばされる時代に世界は突入してしまったかのようです。不安と恐怖と猜疑心を煽るような政治手法に対して、私たちはいかにあらがうことができるのでしょうか。そしてそうした希望のともしびを若い人たちと共有することができるのでしょうか。世界情勢や国内政治を概観しつつ、身近な社会や教育の現場での取り組みについて考えたいと思います。

■ 聖書研究

講師：安田真由子さん

アメリカ合衆国シカゴ・ルーテル神学校で Ph.D. 取得。専門は新約聖書のフェミニスト・クイア批評。論文に「連帯から生まれる社会変革のことば—マリアの賛歌（ルカ 1・39-56）のフェミニスト批評」（ルター研究 2022 年）「ヨハネ福音書における神とイエスのカミングアウト？」（聖書学論集 2025 年）現在 ルーテル学院大学・神学校と農村伝道神学校で聖書関連の授業を担当。アメリカ福音ルーテル教会アジア太平洋デスクのジェンダー正義コーディネーター

聖書には、人々を分け隔てる境界線を踏み越えていく人たちが登場します。分断の境界線を生み出すのは、社会の規範や差別的制度、そしてそこに否応なく巻き込まれているわたしたち自身。では、規範や制度と、より巧みに、より倫理的に駆け引きするにはどうすればいいか。そのようなことを考えながら、学生さんたちと一緒に聖書を学び続けています。

■ 全国キリスト教学校人権教育研究協議会（全キリ）総会

全国キリスト教学校人権教育セミナーは 1990 年から始まり、毎年 8 月のセミナーを継続する中で、1994 年に「全国キリスト教学校人権教育研究協議会」を結成しました。以来、現地実行委員会と共に毎夏の全国セミナーを企画・開催しています。総会ではこの 1 年間の活動報告を受け、これからの取り組みをみんなで考えていきます。

セミナー参加費には年会費が含まれています。参加者は 1 年間全キリ会員となり、総会議決権があります。事前に議案書と資料をメールで送付します。

■ 全国交流会 南国亭（聖イグナチオ教会近隣）

参加費に含まれております。皆さんで良い交流のときを持ちましょう。

8月12日（水）

■ 分科会

① 「人権問題としてのハンセン病問題—教育が問われるもの—」

講師：内田博文さん

国立ハンセン病資料館館長。九州大学名誉教授。専門は刑事法学（人権）、近代刑法史研究。ハンセン病市民学会元共同代表。厚生労働省第三者機関『ハンセン病問題に関する検証会議』副座長を務めた。ハンセン病患者の権利擁護を中心とする医療基本法や差別禁止法の法制化の問題のほか、子どもの権利問題にも取り組む。

終生絶対隔離政策という国策は、病にかかった人に『人生被害』をもたらし、「らい予防法」が廃止され、ハンセン病国賠訴訟が勝訴した今もなお、回復者・家族が語れない状況があります。国策を支えた私たちの社会は、コロナ危機においてこの問題を克服できていないことを露呈しました。新たな感染症のみならず、いじめ・排外・LGBTQ 排斥など差別偏見へと傾く社会を変えていく人権教育への提言を、ハンセン病問題と向き合い続けておられる内田さんからお聞きします。

② 「分断と憎しみをのりこえる教室」

講師：金迅野（きむ・しんや）さん

在日大韓基督横須賀教会牧師。立教大学大学院キリスト教学研究科教員。専門は、実践神学、「多文化共生」論、「人権」教育。1960年、在日コリアン2世の父親と日本人の母親の間に、東京都文京区で生まれる。朝鮮半島の南北にいとこが、東京にも台湾人のいとこがいる。共著に『人間と社会のうごきに出会う社会学的探求』ミネルヴァ書房（2026）、『国籍のゆらぎ、たしかなわたし』太郎次郎社エディタス（2025）、『ヘイトをのりこえる教室』大月書店（2023）

人と人之間、社会と社会の間、教会と教会の間、国と国の間、日々、分断が起きています。そして分断の先には排斥と平和の破壊と戦争が待っています。キリスト教会の伝統には「一致」をめざす動きが息づいてきましたが、なぜ、「分断」は起きるのでしょうか。この分科会では、日本社会でも顕著になっている「ヘイト」について、スライド等を用いて考えます。「ヘイト」はなぜ起きるのか、分断と一致の分岐点は私たちの生活にどのように現れているのか、「意見」

と「解釈」の違いはなにか…。さまざまな問いをかみしめながら、「出会い」「共感」「自分を愛する」などをキーワードに、「生きづらさ」をのりこえる道のあり方について、参加者の皆さんと共に考えたいと思います。

③「差別しているのは『差別者』だけじゃない～

無知・無関心とインターセクショナリティに焦点をあてて」

講師：藤岡美恵子さん

法政大学大学院非常勤講師 1988年～2002年まで国際人権NGO 反差別国際運動（IMADR）の専従スタッフ。2007年までプロジェクトコーディネーター。その後、特定の団体には所属せず、レイシズム、植民地主義、NGOと政府の関係の問題にとりくむ。大学院では「国際人権論」を担当。共著に『部落フェミニズム』（2025年）など。

「日本人ファースト」を掲げた排外主義が高まっています。こういうときはとくに、あからさまに差別的な言動が注目を集めがちですが、問題はそういう「差別主義者」だけにあるのでしょうか。積極的に差別をするわけではないが差別問題をよく知らない／関心がない—そんな人が実は社会の多数派でしょう。自分は差別していないと思っているその多数派の人々は、レイシズムの維持・再生産にどう関わっているのでしょうか。そして最近耳にする「インターセクショナリティ」とはどんな概念でどんな背景から生まれたのか。主に部落女性の経験に依拠しながら考えていきます。両方に共通するキーワードである「マジョリティの特権」についても一緒に考えていきましょう。

④「生き延びるためのラップ・ワークショップ」

講師：FUNIさん

川崎生まれ、川崎育ちで、朝鮮半島にルーツを持つ在日コリアン 2.5世の詩人でラッパー。2002年にラップデュオである「KP (Korean Pride, Korean Power)」を結成し、東芝 EMI よりメジャーデビューを果たした。また、2004年にはNHK ハングル講座にラッパー講師として出演。現在、教育、学びの領域であるアカデミアでも注目されており、各地の大学でのパフォーマンスや、「ヒップホップセラピー」を軸にしたラップ・ワークショップなどを行っている。

社会全体で閉塞感が蔓延し、排外主義が激しさを増す日本で、FUNIさんは自身の体験をありのまま言葉に紡ぐことで救いのありかを見出してきました。「自分を表現するという行為によってはじめて解放の感覚が得られる。そしてその感覚は、外からだれかに与えられるものではなく、自らの内から紡ぎ出すものである」と語っています。

学校文化に居心地の悪さを感じる子ども、学校の将来が不透明な中、仕事に追われて疲弊する教職員、「日本語上手ですね」と言われてうんざりしている在日コリアン。このワークショップに参加して自分を語ることで、今、私たちが必要としている言葉に出会い、新たにエネルギーを得て帰ることができるよう、願っています。

⑤歩く分科会「『部落差別をなくす』部落差別解消学習」

「歩く分科会」は『部落差別をなくす』部落差別解消学習とは何か、部落差別をなくす学習内容をイメージできるフィールドワークです。幕末から明治初期の部落差別は、と畜と皮革生産に対する認識でした。この偏見を除去するために「お肉の情報館」と「産業・教育資料室きねがわ」を訪問します。

情報館では『お肉の生産工場』上映、情報館の展示を見学、芝浦と場で働いた経験も含めたお話を聴きます。産業・教育資料室きねがわでは、展示の説明や地域の小学校教員としての経験を含めお話しいただきます。また、地元の産業と部落差別への取り組みについてもうかがいます。

講師：高城順さん（部落解放同盟品川支部長） 藤本忠義さん（部落解放同盟墨田支部書記長）

岩田明夫さん（「産業・教育資料室きねがわ」室長）

案内：水野松男さん（全キリ運営委員）

■ 講演2

講演題「なぜ子どもたちは傷つけ合うのか」

講師：石井光太さん

作家。『遺体』『「鬼畜」の家』『本当の貧困の話をしよう』『ルポ 誰が国語力を殺すのか』『スマホ育児が子どもを壊す』『傷つけ合う子どもたち～大人の知らない加害と被害』など著書多数。

子どもたちを取り巻く課題——いじめ、自殺、校内暴力、不登校——はかつてないほど多くなっています。なぜ子どもたちは他人だけでなく、自分をも傷つけるのか。その根本の問題について考えます。

■ 派遣礼拝

8月13日（木）

■ オプション・フィールドワーク

国立ハンセン病資料館見学・国立療養所多磨全生園を訪問 昼食はお食事処「なごみ」

集合：西武池袋線 清瀬駅 南口 10時 解散：同15時半予定。

らい予防法廃止、らい予防法違憲国家賠償訴訟「勝訴」判決以降、ハンセン病回復者の高齢化とあいまって、ハンセン病問題は社会から忘れられていきつつあります。しかし誤った国策により作り出された偏見差別は社会の中に根を張り、新たな人権侵害を生み出す状況は変わっていません。今回改めて絶対隔離政策の非道さ、その中で生き抜いた人々、国策に抗して闘った人々の歴史を学び、私たちの人権感覚を問い直したいと願っています。

「全キリ グラウンド・ルール」とは、「人権教育セミナー」に参加されるすべての方たちが、セミナー中や終了後も不快な思いをせずに気持ちよく過ごすための基本的な約束事です。セミナープログラムはもとより、協議会の総会の進め方などにも適用される内容です。
(2009年8月6日発足、2015年8月17日改訂、2019年8月6日改訂、2021年6月オンライン版作成、2023年6月改訂、2026年5月改訂)

全キリ グラウンド・ルール

初めて参加される方への配慮と共に、以下の点についてどうぞご協力ください。

1. 無理のない範囲で、積極的に参加なさってください。
 - ・お互いのペースや、うちとけ方を尊重しましょう。
 - ・参加者が自由に話せるように、お互いに耳を傾けましょう。
 - ・話したくないことは話さなくてかまいません。
2. 守秘義務を守ってください。
 - ・セミナーで見聞きした個人情報は、その場のみにとどめてください。名前・所属・写真・事例などを、本人の許可なく他者に漏らすことは「アウトティング」となり許されません。
 - ・いまインターネットではマイノリティに対する不当なスピーチがまん延しています。SNSへの投稿はしないでください。
 - ・会場内での撮影、録音・録画はしないでください。
 - ・セミナー報告を他の媒体に掲載する際、とくにマイノリティ当事者が講師の場合、必ず本人の了解をとって報告記事をまとめるようにしてください。
3. セミナーにはさまざまな参加者がおられます。
 - ・参加者の中には、自分とは異なる生活スタイル・価値観・問題をもっている人がいることを理解しましょう。
 - ・自分の国籍・セクシュアリティ・経済的状況・職場の状況などを話したいとは限りません。
 - ・批判し、話し合いを深めることは大切です。しかし互いに尊重し合い、人格を否定するような言動はしないよう心掛けましょう。
 - ・セミナーの目的からかけ離れた個人的な宣伝はご遠慮ください。
4. 言葉による暴力・セクハラ・パワハラは厳禁です。
 - ・たとえ怒りなどの感情をもつことがあったとしても、それを他の参加者に向けて攻撃したりしないようお願いします。
 - ・相手や当事者が不快に思う言動は、ハラスメントです。私たちは誰でも両当事者となり得ることを心に留めましょう。
5. セミナー中は、携帯電話をマナーモードに切り替え、他の方々の迷惑にならないようお願いします。
6. オンライン視聴するみなさんへのお願いとご注意
 - ・正規の手段以外でミーティングIDや招待URLを入手した方の参加は固くお断りいたします。
 - ・個人での録画、録音、スクリーンショット等の撮影をしないでください。主催者側が必要に応じて録画などの記録をとり、セミナー後の「人権教育ニュース」で報告します。
 - ・差し障りのない限り、画面には参加申込時の名前を表示してください。(正規の参加者と、そうでない方を判別するためです。) ただし会場での大画面への投影はありません。
 - ・マイクは「ミュート」にしてください。質疑には加われません。ただし総会の議決権はあります。
 - ・参加者用リンクは、申込をされた方だけにお送りしています。他の方には公開しないでください。

セミナー中に差別や人権侵害と思われる言動を見聞きした場合、可能ならばその場で注意を喚起するとともに、実行委員会にお知らせください。実行委員会・運営委員会が必要な対応をします。

カトリック麹町 聖イグナチオ教会について

住所 〒102-0083 東京都千代田区麹町 6-5-1

電話 03-3263-4584 / Fax 03-3263-4585

<https://ignatius.gr.jp/info/stignatius.html#map>

※こちらへのお問い合わせはお控えください。

交通機関

JR 中央線・総武線／地下鉄 丸の内線・南北線 「四ツ谷」駅下車
JR 線は麹町出口、地下鉄丸の内線・南北線は赤坂出口よりお越しく
ださい。（麹町出口から約 200m 上智大学手前）



全国キリスト教学校人権教育セミナーの歩み

開催年月	回	会場	テーマ
1990.8	第1回	矢田解放塾(大阪)	「キリスト教主義」学校での解放教育の現状と課題
1991.8	第2回	矢田解放塾(大阪)	出会い～キリスト教学校での解放教育の現状と課題
1992.8	第3回	日本キリスト教会館(東京)	共に生き、共に学ぶ教育を求めて
1993.8	第4回	本願寺門徒会館(京都)	キリスト教と人権～“よき”サマリヤ人とは何か？
1994.8	第5回	広島女学院中高(広島)	キリスト教と人権～聖書の「罪」と現代の「差別」
1994.8	全国キリスト教学校人権教育研究協議会が発足		
1995.8	第6回	賢明女子学院中高(姫路)	共生の拒否を乗り越えて～戦後50年・聖書からの問いかけ
1996.8	第7回	金城学院高校(名古屋)	希望を生む人権教育をめざして
1997.8	第8回	立教新座高校(埼玉)	キリスト教と人権～いと小さき者の視点に立つ教育
1998.8	第9回	四国学院大学(香川)	キリスト教と人権～共生への模索
1999.8	第10回	大阪女学院中高(大阪)	キリスト教と人権～知り、共感し、変わる
2000.8	第11回	西南女学院中高(北九州)	「共に生きる」～きずなの創造と回復を求めて
2001.8	第12回	日星高等学校(舞鶴)	一人一人が『生きる』学校をめざして～人権教育が引き出す可能性
2002.8	第13回	関東学院中高(横浜)	子どもの声がきこえていますか
2003.8	第14回	ノートルダム清心大学(岡山)	私たちがささえるもの、つなぐもの、生かすもの
2004.8	第15回	西南学院中高(福岡)	「さあ、行こう」平和への道～今こそ聴き、語り続ける時
2005.8	第16回	立教大学(東京)	心の自由～キリストと共に歩む人権教育
2006.8	第17回	名古屋学院名古屋中高(名古屋)	希望をもって生きるために
2007.8	第18回	同志社中学校(京都)	困難な時代です でも私たちはよく生きましょう ～なぜなら私たち自身が時代をつくり出す者だからです。
2008.8	第19回	カリタス女子中高(川崎)	子どもの声が届いていますか
2009.8	第20回	女子学院会館・韓国YMCA(東京)	未来に希望、現在に勇氣
2010.8	第21回	広島女学院中高(広島)	取りもどそう 創り出そう 人権教育の可能性
2011.8	第22回	横浜共立学園中高(横浜)	子どもの命を生かし、つなぐもの～尊厳と自由の回復を目指して
2012.8	第23回	KCC会館・プール学院中高(大阪)	つれもていこか あんじょういこか～経験をつなぐ、現場で学ぶ
2013.8	第24回	東北学院大学・エマオ(仙台)	被災と人権～3・11 を人権教育の課題から考える
2014.8	第25回	福岡女学院中高(福岡)	「見えなくされている」人々の声に聴く
2015.8	第26回	恵泉女学園大学(東京)	子どもたちのいのちと人権～キリスト教学校の教育課題
2016.8	第27回	松蔭中学校・高等学校(神戸)	いのちと向きあう～今、大切にしたいこと
2017.8	第28回	共愛学園(群馬)	今日、会いに行こう～今、知る、出会う、共に生きる
2018.8	第29回	清和女子中高(高知)	共に喜ぶ世界を創るために～SAY WA
2019.8	第30回	大阪女学院中高(大阪)	想像力を豊かに持とう～出会いから無関心・不寛容な時代を変える
2021.8	第31回	オンライン開催	「気づき、共に築く人権教育」～新型コロナウイルス危機の中で～
2022.8	第32回	日本基督教団神戸聖愛教会(神戸)	尊厳をとり戻す！～大切なあなたとともに～
2023.8	第33回	青山学院大学・日本キリスト教会館(東京)	いのち・平和・人権～小さな声をききとり、ネットワークでつなごう
2024.8	第34回	頌栄短期大学(神戸)	『…にもかかわらず』喜び、笑い、歩む～いのち・平和・人権～
2025.8	第35回	関西学院大学梅田校舎(大阪)	今、わたしにできることを～いのち・平和・人権
2026.8	第36回	カトリック麹町聖イグナチオ教会(東京)	「好き嫌」だけで決めていいの？～排外と分断の時代で尊厳を～